



平成 24 年 12 月号

vol.59

にしじま通信

編集者 西島 由紀恵



今年もあと1ヶ月不足ですね。毎年、同じことを言ってますが、一年が早いですよねー^^ みなさま、おかわりございませんか？

鯖江の工務店様が主宰されている村上経営道場というところがあります。

経営やビジネスについて学ぶ塾みたいなものです。昨年うちの社長と参加したこともあり、「環境整備」の体験談を語ってほしいとご依頼がありました。人前で話すのは大の苦手なのですが、ここの村上塾長をととても



第5期生の方たち。前でしゃべってるのが私です。(村上塾長ほかオブザーバーは後ろで見守ってくれています。)

尊敬しているがゆえ断るわけにはいきません。体験談が伝わったかどうかは別として、共に学ぶ仲間がいるというのは本当に幸せなことだと実感しました。

先日、こんな話を聞きました。『芋^{いも}は1つだけでは、どんなにきれいな水を流してもきれいにはならない。でも、たくさんの芋でゴロゴロとこすれば、必ずきれいになっていく』——つまり、芋^{いも}とは自分自身のことです。自分を磨こうとどんなに本を読んでもセミナーに行っても一人で磨くことはできないそうです。たくさんの人の中で(家族もしかり、職場もしかり)、もまれてこそ磨けるのだとか・・・

〒919-0621 あわら市市姫 5-6-33

西島木材株式会社

リフォームハンズにしじま

西島和之一級建築士事務所

フリーダイヤル 0120-430-150

H・P nishijima-wood.co.jp

～社長の一言～

12月9日は“山祭り”といって、山の神様に感謝する日です。この日は山(木)仕事をするとかケガをするとも言われており毎年会社を休みにしています。

前日の8日は社員や大工さんを労うため温泉に行くのが慣習となっています。





うちの実家のダイニングにも、カリンフローリングを張りました。母の強い要望だったんです！

カリンのフローリング

カリン材は、主に東南アジアを産地とするマメ科の広葉樹です。バラ科の果樹として知られているカリンとは全く別の種類です。

強度・硬度ともに高く、加工もしやすいので内装材としてはもちろんのこと、柱や家具材、楽器などにも使われています。

写真のような赤褐色なのですが、その色合いは変化に富んでおり、薄い色と濃い色が同居し、独特の風合いを醸し出しています。

とても高級感があり、長く使えば使うほど、味が出ます！また、水やシロアリにも強いと言われています。

(注) 近年、入手が難しくなっているようです。

《クロス選び方》

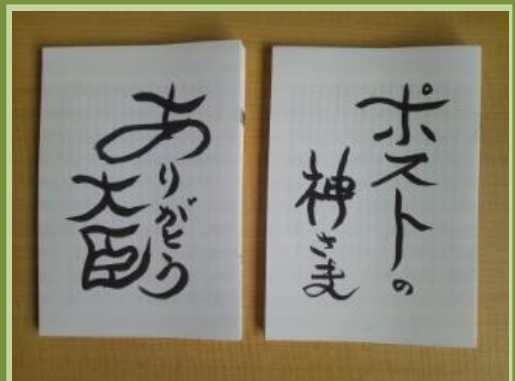
クロスと言っても、いろんな素材があります。一般的に最もよく使われているのはビニールクロス。サンプル帳を見たものより、大きな面積に貼ると面積効果で色が明るく（白っぽく）見えます。無地の白っぽいものであればさほど問題はありませんが、色がついている場合は必ず大きなサンプルで確認してくださいね。

リビングは、シンプルで飽きのこない織物調や石目調、オフホワイトやベージュ系のベーシックカラーがおすすめです。淡い色は、開放的で広々とした印象が得られます。反対に、和室や書斎など、落ち着いた雰囲気を演出したい場所にはやや濃い色をアクセントとして使うといいですよ。

また天井のクロスは、壁面の色よりも白くするのが基本です。



※リフォームのときは、新築と違って下地調整が難しく、パテ処理だけでは吸収できないことがあります。そのため、厚手のクロスを選んだほうがいいですよ。



「ありがとう大臣」と「ポストの神様」

以前、フェイスブックで「ハガキ道」のことを書きました。それを読んだ知り合いの社長様からこれが送られてきました。

とてもためになるお話でしたよ！これは、神戸市の阿川龍翔さんが書かれたものです。

この小冊子をほしい方はお電話ください。0120-430-156 まで・・・お送りさせていただきますよ。

(もちろん、無料です^^)